

電力余剰熱利用で 農産物に付加価値

指宿でオリコンサルら

オリエンタルコンサルタンツは、鹿児島県指宿市が公募した「九州電力山川発電所内における余剰熱を有効利用した事業提案」の優先交渉権者に選定された。同社を代表企業とし、同市内で営農事業に取り組む子会社のオリエンタルアグリ（東京都渋谷区、五島寧人代表取締役）、地元企業でオクラ乾燥加工事業を展開するエール（鹿児島県指宿市、倉本哲代表取締役）との3社による共同事業となる。同事業は地方創生事業の一

環として位置付け、「指宿の『恵み』、みんなに『とどけ！』をキャッチフレーズに、「指宿だからできる地域特性」を生かしてSDGs（持続可能な開発目標）に貢献する農産物の付加価値化を図り、環境に配慮した持続可能な農業の確立と地域の活性化を目指す。

具体的には、農産物の加工工場を建設し、オクラを始めとした指宿産農産物の加工品製造・加工品販売などを展開する。

今後、指宿市や関係機関などと協議を重ね、2023年6月の加工工場開業を予定している。